

豊水

Shizuoka Deep Seawater ARC NEWS

Vol. 15

静岡県水産技術研究所
駿河湾深層水水産利用施設

Suruga-Bay Deep Seawater Aquaculture Research Center
of Shizuoka Prefectural Research Institute of Fishery

平成19年度当初にあたり

駿河湾深層水水産利用施設は、深層水のもつ低温安定性、清浄性、高栄養性等の特性を利用し、水産生物の増養殖における利用技術開発を行うことにより、本県の水産振興に寄与することを目的としています。当施設は旧水産試験場の附帯施設とし、平成16年4月に開所しました。

平成19年4月には、静岡県水産試験場の名称が静岡県水産技術研究所へ変更されました。また、新たに「深層水養殖産業基盤開発研究」が研究課題として設定され、アカザエビ、サガラメ、ニジマスを中心とした地域ブランド種の養殖技術開発を行います。

研究スタッフ紹介

水産技術研究所 利用普及部 深層水研究室

室長

主任研究員 岡本 一利

担当：深層水養殖産業基盤開発研究等

主任研究員 花井 孝之

担当：駿河湾産微細藻類利用開発研究等

主任研究員 野田 浩之

担当：サガラメ・カジメ種苗培養研究等

副主任 二村 和視

担当：深層水養殖産業基盤開発研究等

研究課題一覧

サガラメ・カジメ種苗培養研究

磯焼け対策として大型藻類の海域への移植方法を確立させるため、
深層水を利用してサガラメ・カジメの種苗培養技術の研究を行う

駿河湾産微細藻類利用開発研究

駿河湾深層水に生育する有用微細藻類を探索し、深層水を利用した
大量培養の方法と利活用技術を開発する

深層水養殖産業基盤開発研究

深層水特性を利用した地域ブランド種の養殖技術の開発を行い、
新規養殖産業の創造や資源添加用種苗の生産性の向上を図る
